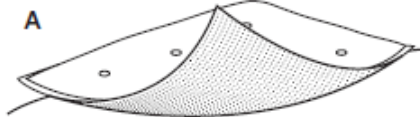
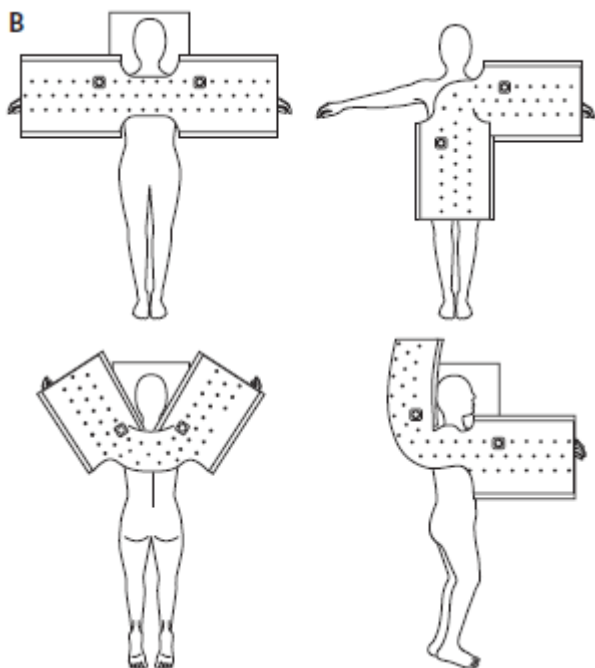


使用にあたっては、本品を接続して使用する装置の添付文書（含む取扱説明書）を合わせて参照すること。

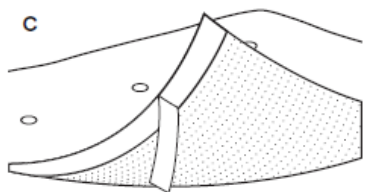
1. ウォーミングブランケットの孔のある面を患者の体表側にして、直接患者の上にかける（A）。



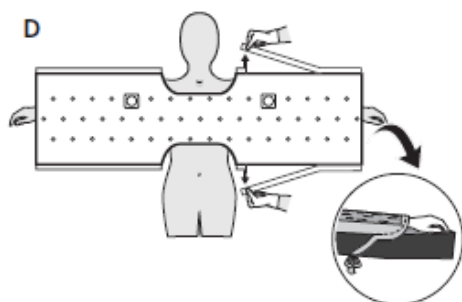
2. 患者の体表面ができるだけ多く覆われるようにウォーミングブランケットを配置する。本品は、術式や体位に合わせて湾曲させたり、曲げたりして、患者の体に沿って変形させることができる。術式や術野へのアクセスを考慮してさまざまな配置を取ることができるが（B の参考例参照）、必ず片側中央の粘着テープが術野側に向くように配置すること。



3. 粘着テープのライナー紙をはがし、必ず粘着テープでウォーミングブランケットを固定すること（C）。手術中に使用する場合は、適切な手術用ドレープを使用して送風が術野にかからないようにすること。



4. ウォーミングブランケット左右の上下にあるタイストリップ（中央付近からタブを持ってミシン目を切り離す）を結び、必要に応じてウォーミングブランケットを固定することができる（D）。

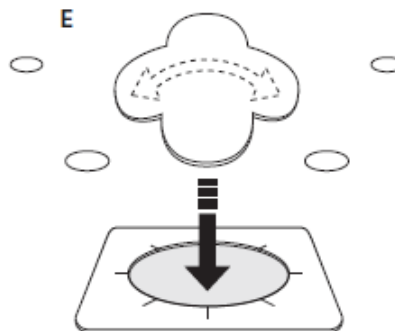


5. ウォーミングブランケットの2ヶ所のホース挿入口は、状況に

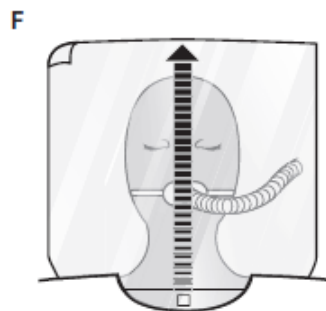
応じてどちらにも装置のエアーホースを接続できる。ホースを接続する前に、片方の挿入口のフィルムを破る。ホースカードが付いている側は、ホースカードを外してからフィルムを破る。挿入場所を変更したいときは、はじめにホースを差し込んだ挿入口をホースカードで塞ぐこと（E）。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

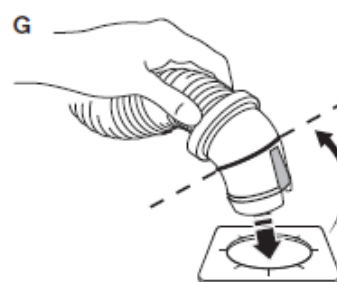
同時に2台の装置を接続しないこと。



6. 挿管時には、透明のヘッドドレープを広げ、頭部を覆うことで、頭頸部からの放熱を抑えることができる（F）。人工呼吸器の使用時以外は、ヘッドドレープを使用しないこと。



7. 装置のエアーホースをウォーミングブランケットのホース挿入口にしっかりと差し込む（G）。ホース先端をねじりながら、差し込む深さの目安を示すホース先端中央部の突起のところまでしっかりと差し込むこと。適宜ホースクリップやシートクリップなどのホース固定具を使って、ホースの接続が外れないようにホースを支持すること。



8. 装置の電源を入れてウォーミングブランケットに空気を送り込み、加温を開始する。
9. 使用後は、医療廃棄物として、各自治体または施設の基準に従って廃棄すること。

*【使用上の注意】

* 1. 重要な基本的注意

- * 1) 高齢者、認知機能に障害のある患者、身体障害を有する患者、重症患者など特に配慮を要する患者を加温する場合は、患者の状態の変化や異常加温に対応できるように、常時患者の状態を確認すること。
- 2) ウォーミングブランケットは、加温部位、適用患者など使用目的に合ったものを使用すること。
- 3) 人工呼吸器の使用時以外は、ヘッドドレープを使用しない

- こと。
- 4) 非滅菌のウォーミングブランケットを使用するときはウォーミングブランケットが術野に触れないように注意すること。
 - 5) 手術中に使用する場合は、適切な手術用ドレープを使用して送風が術野に直接かからないようにすること。
 - * 6) ウォーミングブランケットの使用前に、汚れ、破損、ゆがみ、変色等の異常が見られる場合は使用しないこと。
 - * 7) ウォーミングブランケットのタイストリップを使用して、ウォーミングブランケットを患者の四肢に固定する場合は、強く締め付けないようにすること。
 - * 8) ウォーミングブランケットの上から患者の固定具（固定帯またはテープ等）をかけないこと。
 - * 9) 対極板が貼付されている箇所を直接ウォーミングブランケットで加温しないこと。
 - * 10) ホース挿入口が鼠径部の上にかかるように配置しないこと。
 - * 11) 足首から先に温風が直接あたらないようにすること。
 - * 12) 非滅菌のウォーミングブランケットを滅菌しないこと。
 - * 13) 本品は米国消費者製品安全委員会の可燃性試験（16 CFR 1610）で定義されているクラス I の通常可燃性に分類されるため、周囲の火気に注意すること。
 - * 14) ウォーミングブランケットを患者搬送のために、使用しないこと。

* 2. 相互作用

* 〔併用禁忌〕（併用しないこと）

医療機器/医療機器 の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
適応機種以外	熱傷を引き起こすおそれがある。	本来の性能を損なうおそれがある。
経皮吸収剤	貼付部位で熱傷を引き起こすおそれがある。 薬剤の種類によっては患者が死亡するおそれがある。	経皮吸収剤が熱くなるおそれがある。 温められたことにより薬剤が急速に吸収されるおそれがある。

- * 3. 妊婦、産婦、授乳婦および小児への適用
- * 小児や乳幼児を加温する場合は、患者の状態の変化や異常加温に対応できるように、常時患者の状態を確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - 1) 涼しく乾燥した場所で保管すること。
 - 2) 過度の高温または低温になる場所で保管しないこと。
 - 3) 使用直前まで開封せずに保管すること。
2. 有効期間

個包装および外箱に記載〔自己認証（製造元データ）による〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：ソルベントムイノベーション株式会社
TEL：0570-000-470（カスタマーコールセンター）

外国製造所の国名及び製造業者の名称：

米国、ソルベントム ユーエス エルエルシー（Solventum US LLC）